

2016年度活動報告書

三輪眞弘 / 教授、研究科長

今年度の活動

昨年までの絶え間ない創作活動が一段落し、今年度は旧作の「復刻」及び再演に集中した年であった。それはまず、本学の松井茂准教授、伊村靖子講師が代表者であるメディア芸術アーカイブ推進事業（文化芸術振興費補助金）、及びメディア芸術所蔵情報等整備事業の一環として再演された、「赤ずきんちゃん伴奏器」（1988）、「東の唄」（1992）のコンピュータシステムやプログラムを含む復刻／再制作及びそれに伴うシンポジウムである。さらに、来年度12月に予定されている、モノローグ・オペラ「新しい時代」（2000）の再演を見据えた「言葉の影、またはアレルヤ」（1998）の演奏システムの復刻及び、オペラ関連作品を集めたコンサート「声のような音／音のような声」の準備のために多くの時間を費やした。



レクチャー・コンサート「声のような音／音のような声」大阪フェニックスホール

学外の活動

作品発表

- ・ 5/11 アムステルダム、Demonstration the Singing Machine at a conference /Art of Voice Synthesis/ organized by the University of Amsterdam.
- ・ 9/2 杉並公会堂「いまいけふるじょくと」が新作「二人だけのまたりさま / 畏祠多宮の御（三）拍子」を初演
- ・ 9/24 長久手市文化の家「いまいけふるじょくと」が新作「二人だけのまたりさま / 畏祠多宮の御（三）拍子」再演！

- ・ 11/6 アーツ千代田3331、文化庁メディア芸術祭20周年企画展の「メディアパフォーマンスとは何か? IAMAS20周年から考える」で、「赤ずきんちゃん伴奏器」(1988)、「東の唄」(1992)を復刻再演
- ・ 12/25 ザ・フェニックスホール、モノログオペラ「新しい時代」(2000)再演に向けて「声のような音/音のような声 三輪真弘作品集」でオペラ関連作品:

言葉の影、またはアレルヤ

独唱曲「天使の秘密」

再現芸術における幽霊、またはラジオとマルチチャンネル・スピーカーシステムのための、新しい時代

独唱曲「訪れよ、我が友よ」「新しい時代」

合唱曲「新しい時代」

ポップソング「Wach Jetzt Auf!」

を復刻再演。

2016/

- ・ 1/21, 22 TWS本郷「オープンサイト」今村俊博×池田萌 第5回パフォーマンス・デュオ公演「音楽のバウンダリー」で「二人だけのまたりさま / 畏祠多宮の御(三)拍子」を再演
- ・ 2/23-26 IAMAS2017展で、「三輪真弘 メディア・パフォーマンス作品の保存・修復・資料化プロジェクト」の成果を展示
- ・ 2/27 - 3/11 大阪大学総合学術博物館、展覧会「記憶の劇場」で「オペラ『新しい時代』をめぐるワークショップ」の成果を発表
- ・ 3/10 杉並公会堂、低音デュオ第9回演奏会で「お母さんがねたので」再演
- ・ 3/18 K D ハボン、「音楽のバウンダリー」名古屋公演! 「二人だけのまたりさま / 畏祠多宮の御(三)拍子」再演

講演、その他

- ・ 8/26 サントリーホール、第26回芥川作曲賞選考演奏会で審査委員として公開選考
- ・ 10/10 名古屋市美術館、あいちトリエンナーレ2016のシンポジウム「メディア・アートとは何か? IAMAS20周年から考える」にパネラーとして参加
- ・ 11/6 アーツ千代田 3331、「メディア・パフォーマンスとは何か? IAMAS20周年から考えるメディア芸術祭20周年展」にパネラーとして参加
- ・ 12/9 京都大学人文研共同研究班「現代世界とは何か」で「新しい時代」以後の世界"と題して発表
- ・ 12/16 東京ドイツ文化センター、日本電子音楽協会第20回演奏会に会長として参加

2016/

- ・ 1/14 TWS本郷「オープンサイト」Part 3オープニングでトークに参加
- ・ 2/26 TWS本郷「オープンサイト」Part 4オープニングでトークに参加
- ・ 3/15 愛知芸術劇場、カフェトーク「楽譜と音楽、からだと時間をつなぐ(方法)」でフォルマント兄弟の佐近田展康氏とトーク

教育活動

- ・ 5/10 東京藝大AMCで講義。テーマ：戦前に生きるぼくらに何が可能か。「コンピュータ語による詩作と朗読」（E・イエリネク作『スポーツ劇』をめぐって）
- ・ 12/10,11 名古屋市立大学、インターカレッジ・ソニックアーツフェスティバル フェスティバルにIAMASとして参加

出版

パブリケーション

放送：

書籍：

- ・ 情報科学芸術大学院大学紀要第8巻「シンポジウム IAMAS20周年」で、
メディア・アートとは何か？ IAMAS20周年から考える
あいちトリエンナーレ、2016年10月10日
久保田晃弘（多摩美術大学）、関口敦仁（愛知県立芸術大学）、吉岡洋（京都大学）、三輪真弘、松井茂

及び、

メディア・パフォーマンスとは何か？ IAMAS20周年から考える
メディア芸術祭20周年展、2016年11月6日

川崎弘二（電子音楽研究）、三輪真弘、伊村靖子、松井茂
に、記事掲載。

新聞・雑誌：

ウェブ：

社会的活動

- ・ 第26回芥川作曲賞審査委員
- ・ 清流の国ぎふ芸術祭「ART IN THE CUBE」審査員
- ・ トーキョーワンダーサイト本郷「オープンサイト」審査員
- ・ 日本作曲家協議会理事
- ・ 日本電子音楽協会会長
- ・ 先端芸術音楽創作学会インターカレッジ・ソニックアーツ・フェスティバル運営委員会委員長
- ・ 入野賞審査委員長

学内での活動

- ・ 担当授業：芸術特論A（情報X芸術）、特別研究（論文指導）
- ・ プロジェクト：
 - メディア芸術アーカイブ推進事業（文化芸術振興費補助金）への協力
 - メディア芸術所蔵情報等整備事業への協力
- ・ 個人プロジェクト：作曲、執筆ほか
- ・ 学内での役割：研究科長として精進した